

まちづくり交付金 事後評価シート
緑の精神回廊地区

平成20年12月

静岡県掛川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	掛川市		地区名	緑の精神回廊地区			面積	100ha	
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,361.5百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(都市計画道路掛川駅西郷線整備)、公園(城内広場整備)、公園(掛一小グランド緑化)、公園(子角山整備)、公園(十九首水源地公園整備)、公園(倉真川合流部公園整備)、公園(竹の丸緑化)、高質空間形成施設(緑化施設等)、既存建造物活用事業(竹の丸修復)									
		提案事業	報徳社大講堂修復、竹の丸修復活用調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(大池橋下流右岸緑歩道・歩道橋整備) 地域生活基盤施設(城内駐車場整備)	関係者と事業合意出来ず取り止めた。		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし						
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業										
提案事業		事業効果分析調査	当地区のまちづくり目標に対する達成状況を確認及び効果発現の要因の整理を行い、今後のまちづくり方を検討するため。		影響なし							
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	来訪者数	人/年	432,890	H14	476,000	H20	517,970	あり なし	掛川城周辺の各種施設整備や回遊ルートの景観整備が進められることにより、城郭エリアの回遊性が高まり、来訪者の増加につながった。	平成22年3月	
	指標2	交流センター(竹の丸)利用者数	人/年	0	H15	10,000	H20	124,767	あり なし	掛川城周辺の各種施設整備や回遊ルートの景観整備が進められていることも影響して、交流センター(竹の丸)を訪問意向が高まった。 評価値の内訳...会議室利用者数:6,939、観光入込客数:117,828	平成22年3月	
	指標3	景観に配慮した快適空間率	%	0	H15	80	H20	100	あり なし	逆川堤防遊歩道の整備が完了したことにより、目標値を達成した。		
指標4	来訪者の滞留時間	時間/台	1.5	H15	2	H20	1.46	あり なし	城郭エリアの来訪者数やバス駐車台数自体は増加しているが、その滞留時間は近年はほぼ横ばいで推移している。尚、平成21年度当初には竹の丸がオープンするため、その影響で滞留時間増加が見込まれる。	平成22年3月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	遊歩道歩行者通行量	人/時間	/		/		平日:80.3 休日:50.8	/	従前値との比較は出来ないが、逆川堤防遊歩道の整備により、逆川沿いを散策する市民の数は増加している印象を受ける。		
	その他の数値指標2	遊歩道歩行者快適度	%	/		/		86.8	/	大半の市民が逆川沿いの快適度(歩きやすさや緑の景観など)は向上したと感じている。		
4)定性的な効果発現状況	逆川沿いの遊歩道整備により快適な歩行空間が整備され、市民の感じる印象としては逆川沿い遊歩道の利用者は増加していることである(歩行者数の従前値は把握できない)。竹の丸の改修基本計画を検討するにあたって行ったワークショップへの参加を通じて、市民グループの事業への理解・関心が深まり、管理運営計画の検討に引き続き参加することにつながっている。また、ワークショップの実施過程「自主的な勉強会」竹の丸自習室、を主催した設計集団L N(市内を中心とした若手建築士のあつまり)では、同勉強会を運営することでメンバーのコーディネート能力が向上し、次期計画等での参加も期待されている。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	竹の丸の基本計画策定(NPO法人スローライフ掛川他) 子角山公園の基本設計のワークショップ(13年度)の流れで、公園整備において草刈りなどの作業を実施(子角山の自然を育む会) 倉真川合流部公園の実施設計のワークショップ(鳥居町自治会) 十九首水源地公園の整備工事で関係住民による共同作業(十九首区自治会)		都市再生整備計画に記載し、実施できた				各種施設の整備や改修において、地域住民や市民グループの意見を取り入れる。 整備した公園施設の維持管理について、地元住民の活動参加を促進する。				
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	竹の丸の修復についてのワークショップを実施した団体(NPO法人スローライフ掛川)と市とで、今後の竹の丸の管理運営手法について協議を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				各種市民グループとの協働に基づいて、「竹の丸」の管理・運営体制を構築し、観光・交流の拠点としての施設運営を展開する。					
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2 - 2 地区の概要

緑の精神回廊地区(静岡県掛川市) まちづくり交付金の成果概要

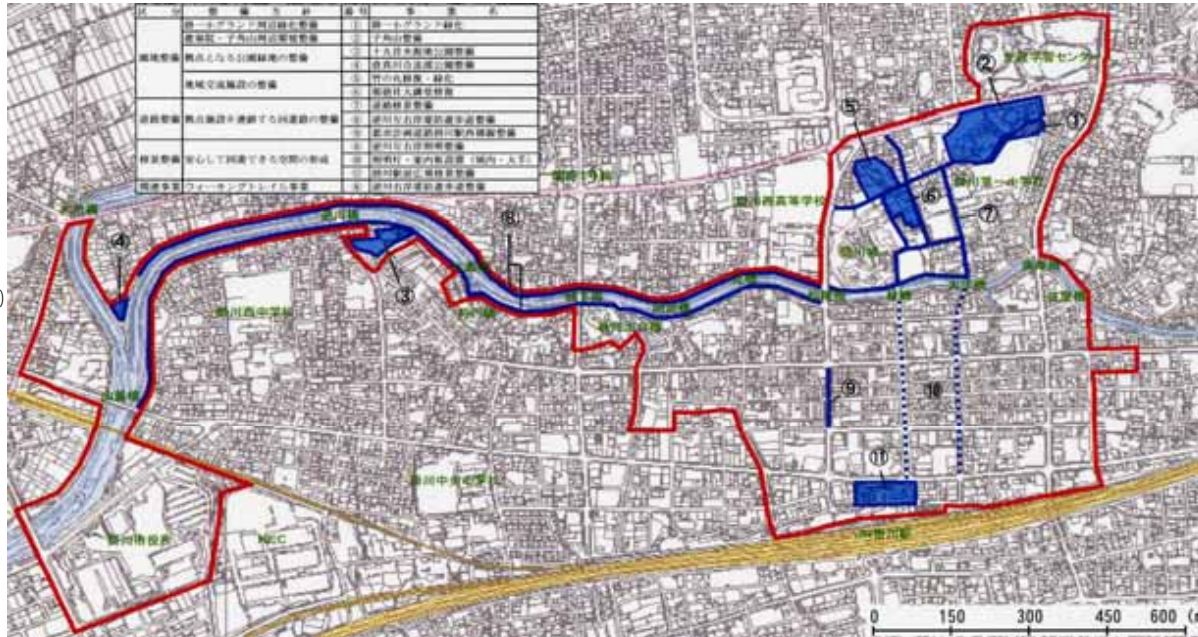
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年度	値	年度	値	年度
「スローライフ」をキーワードに、 城郭エリアと一体となった中心市街地の賑わい再生 地域シンボルである城郭エリア等の伝統や歴史性の保存とそれを活かした観光・交流の促進 交流の舞台装置である緑の精神回廊による歩行文化の創出とスローライフの促進 を目標とし、城郭エリアと新市庁舎エリアの2核都市構造のバランスを図るための総合的施策を実施する。	来訪者数	単位:人/年	432,890	H14	476,000	H20	517,970	H20
	交流センター(竹の丸)利用者数	単位:人/年	0	H15	10,000	H20	124,767	H20
	景観に配慮した快適空間率	単位:%	0	H15	80	H20	100	H20
	来訪者の滞留時間	単位:時間/台	1.5	H15	2	H20	1.46	H20



高質空間形成施設整備の成果(逆川堤防遊歩道)



高質空間形成施設整備の成果(十九首水源地公園)



竹の丸修復の成果(利活用イメージ)



報徳社大講堂修復の成果

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 掛川城郭周辺の施設整備・景観整備により回遊ルートが形成され、城郭エリアの来訪者の増加につながった。その一方で、来訪者の滞在時間が延びておらず、城郭エリアの来訪者増加が、城郭エリア周辺の中心市街地も含めた全体的な活性化に結びついていないと必ずしも言えない。 逆川堤防沿いの遊歩道が整備され、市民の散策ルートの快適性が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>〔遊歩道・公園等の維持管理〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民との協働で、遊歩道や公園の緑地など適切な維持管理を進め、市民の散策路や憩いの場である公園施設の快適性の維持に努めるとともに、住民組織等による公園等を活用したイベントの実施も支援する。 新たに整備された公園において地域住民が愛着をもてる管理運営方法(自治会を指定管理者とする等)を検討する。また、次期計画などにおいてハード整備事業を行う際には、その整備過程からソフト面(指定管理者制度の導入検討も含めた管理運営計画)の検討を行う。 <p>〔中心市街地の一体的な活性化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流拠点として修復整備した「竹の丸」については、管理運営における指定管理者制度を導入し、PR事業・イベント等を充実させ、観光・交流の促進を図る。 掛川城・竹の丸などと連携した中心市街地の商業振興策(各種PR事業、イベント等)や、空き店舗活用に係る各種事業の実施を進め、商店街の活性化や各施設の運営の魅力アップを図り、城郭エリアだけでなく周辺の中心市街地を含めた一体的な賑わい創出を進める。 将来的には、周辺部に立地する文化施設等と中心市街地との連携策も検討していく。